【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成18年10月5日(2006.10.5)

【公開番号】特開2005-66174(P2005-66174A)
【公開日】平成17年3月17日(2005.3.17)
【年通号数】公開・登録公報2005-011
【出願番号】特願2003-302834(P2003-302834)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　5/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　5/04　５１２Ｈ
Ａ６３Ｆ　5/04　５１２Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成18年8月21日(2006.8.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技球、遊技メダル等の遊技媒体を貯留する貯留部と、該貯留部に遊技媒体を払い出す払出装置と、該貯留部から遊技媒体を受け入れる受入装置とを備え、前記受入装置により遊技媒体を受け入れたことに基づいて遊技を行うようにした遊技機において、
遊技媒体を仮想遊技媒体として記憶する仮想遊技媒体記憶手段と、
仮想遊技媒体記憶手段に記憶された仮想遊技媒体を貯留部へ払い出すべく操作される操作手段と、
前記受入装置の駆動により少なくとも次の遊技回に必要な数分の遊技媒体を自動的に受け入れる遊技媒体自動受入手段と、
前記操作手段の操作に応じて、遊技媒体自動受入手段による遊技媒体の自動受入を非実施とする自動受入切替手段と、
を備えたことを特徴とする遊技機。
【請求項２】
前記操作手段が操作された時、前記遊技媒体自動受入手段により既に遊技媒体が自動受入されていれば、自動受入済みの遊技媒体を無効化するとともにその自動受入分の遊技媒体を払い出すか又は仮想遊技媒体として貯留記憶することを特徴とする請求項１に記載の遊技機。
【請求項３】
前記操作手段が操作された時、前記遊技媒体自動受入手段により自動受入された遊技媒体がないことを条件に、前記仮想遊技媒体記憶手段に記憶された仮想遊技媒体を貯留部へ払い出すことを特徴とする請求項１又は２に記載の遊技機。
【請求項４】
前記遊技媒体自動受入手段は、少なくとも次の遊技回に必要な数分の遊技媒体を仮想遊技媒体として前記仮想遊技媒体記憶手段に貯留記憶し、その後の賭数設定手段による賭数設定操作により電気的に受入処理するものであることを特徴とする請求項１乃至３のいずれかに記載の遊技機。
【請求項５】
前記仮想遊技媒体記憶手段に記憶された仮想遊技媒体数を表示する記憶媒体数表示手段

と、遊技媒体自動受入の実施時には記憶媒体数表示手段を表示状態とするとともに遊技媒体自動受入の非実施時には記憶媒体数表示手段を非表示状態とする表示切替手段とを更に備えたことを特徴とする請求項１乃至４のいずれかに記載の遊技機。

【請求項６】

毎回の遊技の開始条件の一つとして操作される、前記操作手段とは別の操作手段と、

前記別の操作手段の操作に応じて、前記遊技媒体自動受入手段による遊技媒体の自動受入を開始する自動受入開始手段と、

を更に備えたことを特徴とする請求項１乃至５のいずれかに記載の遊技機。

【請求項７】

前記別の操作手段は、前記仮想遊技媒体記憶手段に記憶された仮想遊技媒体を必要数分用いて賭数を設定するための操作手段よりなることを特徴とする請求項６に記載の遊技機。

【請求項８】

前記操作手段は、実際に操作されている期間中だけ仮想遊技媒体の払出を行わせ、操作終了時点で仮想遊技媒体の払出を取りやめるようにしたものであって、前記操作手段の操作終了時に、前記遊技媒体自動受入手段による遊技媒体の自動受入を開始する自動受入開始手段を更に備えたことを特徴とする請求項１乃至５のいずれかに記載の遊技機。